

令和3年第1回定例会総体質問通告事項

3 月 12 日	檀上正光議員(市民連合)	質問方式:一問一答方式
	<p>1 臨時財政対策債について</p> <p>(1) 国の地方財政計画では臨時財政対策債は、2020年度より74.5%の増加となっている、尾道市は2020年度当初予算15億9千万円で、2021年度は28億6千万円、対前年度12億7千万円増で、79.9%の大幅増加である、この主な要因は何か</p> <p>(2) 普通債残高は減少傾向にあるが、臨時財政対策債は長期的には増加の一途を辿り、今では市債残高全体の35.7%にもなっている、この事についてどのように考えているか</p> <p>(3) 臨時財政対策債は、いわゆる赤字公債であり、しかも時限立法である、2001年度から続き、もはや臨時的措置とは言えない。このまま継続されると尾道市財政は危機的状況になる恐れがあるのではないかと思うが、市長の見解と今後の取り組みをどのように考えているか</p> <p>2 食料・農業・農村基本計画と尾道市の取り組みについて</p> <p>(1) これまでの食料・農業・農村基本計画の評価と課題をどのように捉えているのか</p> <p>(2) 新しい食料・農業・農村基本計画の特徴は何か</p> <p>(3) 来年度中間検証が行われる尾道市農業振興ビジョンに、国の新しい基本計画をどのように反映させようとしているのか</p> <p>(4) SDGsの理念に基づき、尾道市的な食料・農業・農村基本条例を策定してはどうか</p> <p>3 総体説明について</p> <p>(1) 新年度予算の規模縮小について</p> <p>ア 新年度予算の規模縮小は、大規模建設事業が一段落したことが要因のようであるが、新市建設計画に予定されていた大規模建設事業は、ほぼ完了しているのか</p> <p>イ 学校給食施設の再編整備や旧尾道市北部地域などにおける認定こども園建設事業、道路の建設改良など未整備の事業についての認識は</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策予算について</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症対策の「市民生活の支援」と「雇用・経済活動の継続」の視点における具体的な事業は、どのような内容か</p>	

3 月	<p>イ 各事業には、どの程度の予算を予定しているか ウ 各事業によって、どのような成果があると考えているか</p> <p>(3) スマートシティについて ア 「先端技術を活用したスマートシティ」とは、どのような「まち」か イ 少子高齢化と人口減少などから生じる様々な課題は、「先端技術を活用したスマートシティ」によって、どのように解決されるのか ウ 今後の取り組みは、どのように進めていく考えか</p> <p>(4) 総合計画後期基本計画について ア どのような方針で後期基本計画を策定するのか イ 策定に関わる委員の選出や前期基本計画の数値目標に対する評価の公表などスケジュールはどうか</p> <p>(5) 病院事業について ア 救急医療や感染症対策など必要な役割が十分果たせる機能を備えた新しい市民病院を、できるだけ早く建設する必要があると思うがどうか イ 広島県の「広島県感染症医療支援チーム」を参考に、大規模災害や感染症の拡大などに対応するため、市民病院が中心となって市内医療機関の協力による「尾道版感染症医療支援チーム」を創設してはどうか</p>
12 日	<p>4 新型コロナワクチン接種について</p> <p>(1) ワクチン接種のスケジュール、接種機関、接種会場などについてはどのように把握しているのか</p> <p>(2) 「医療従事者をはじめ、65歳以上の高齢者、基礎疾患のある人、高齢者施設などの従事者への接種対象者は尾道市内ではそれぞれどのくらいの見込みを立てているのか、クーポンの発送時期はいつ頃からを予定しているのか</p> <p>(3) 16歳以上の一般市民への接種はいつ頃を想定し、クーポンはいつ頃から発送する見通しなのか</p>